

公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 創設50周年記念式典&祝賀会報告

平成27年5月26日ベルサール東京日本橋で、全国各地域から障がい者スポーツ関係者及び競技団体から多くの出席者が参列する中、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会創立50周年を迎えたことを記念して創立50周年記念式典が開催されました。

記念式典では、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長の森喜朗様、および文部科学省事務次官山中伸一様、東京都副知事の秋山俊行様からの祝辞の後、日本障がい者スポーツ協会のコミュニケーションマークが発表されました。(火の鳥をモチーフ)



皆さんご存知の通り、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会は、昭和39年に開催されたパラリンピック東京大会を契機に、我が国の身体障害者スポーツの普及・振興を図る組織として、「財団法人日本身体障害者スポーツ協会」の名称で昭和40年に厚生省（現厚生労働省）の認可を受けて創設されました。

その後、長野県で開催された平成10年の冬季パラリンピックを機に、3障がいすべてのスポーツ振興を統括し、また国際舞台で活躍できる選手の育成・強化を担うという役割が、有識者会議で提言され、平成11年、財団法人日本身体障害者スポーツ協会から、財団法人日本障害者スポーツ協会に改称するとともに、協会内部に日本パラリンピック委員会が設置されました。

さらに、平成14年閣議決定された新たな障害者基本計画に基づき、障がい者スポーツの振興については、財団法人日本障がい者スポーツ協会を中心に推進する旨が加筆され、新法で障がい者のスポーツについて初めて言及され、国の責務とともに財団法人日本障がい者スポーツ協会の立場が明確にされました。

今後、2020年パラリンピック東京大会に向けて、障がい者スポーツは各競技団体を中心に益々盛んに活動し、マスメディアによって様々な形で報道され大きく発展していくと思われれます。各地域・地方自治体での活動も重要となってくることが予想されます。当協会も障がい者スポーツをさらに盛り上げる活動を実施していくことができると強く思いました。(山本文責：当日配布資料抜粋含む)

